

特典⑧：「子どもが勝手に動き出す」朝・帰りの会 ミニ会議 進行台本

部活動（組織）を作っても、活動時間がなければ形骸化します。朝と帰りのたった数分間を「**組織が動く時間**」に変えるための、子ども用進行台本（スクリプト）です。

1. 【朝の会】本日の「行動目標」確認ミニ会議（1分）

各部の部長（または当番）がグループに集まり、以下の流れで進めます。

もう少し時間が取れるなら、目標確認ではなく、1日のスケジュールを見て、「このときに重点的に声をかけよう」と話合わせてもよいです。



【進行の型】

1. **あいさつ**：「おはようございます。〇〇部のミニ会議を始めます。」
2. **目標確認**：「今日の（今週の）行動目標は『〇〇（例：チャイム着席）』です。」
3. **役割分担**：「部（例：学習の部）の人は、授業の5分前に声をかけ合ってください。お願いします。」
4. **終わり**：「これで終わります。今日も一日よろしくお願いします。」

2. 【帰りの会】振り返り＆価値付けミニ会議（2分）

一日を終える前に、仕組みが正常に動いたかを客観的に評価します。

こちらも、時間が取れるなら、「2」の段階で、話し合いの場を長めにとってもよいです。



【進行の型】

1. **活動報告**：「〇〇部の振り返りをします。今日の目標『〇〇』はどうでしたか？」
2. **評価**：「できたと思う人は手を上げてください。」
3. **具体的な姿の共有**：「今日、〇〇さんが移動のときに声をかけてくれて、すごく助かりました。ありがとうございます。」（※具体的な「よい姿」を挙げる）
4. **担任（学級）へ報告**：各部長が「今日の〇〇部は青でした」と報告し、その後、担任は短く価値付けして終了。

3. 【AIプロンプト】今日の「ミニ会議の話題」を生成する

毎日同じことの繰り返しでマンネリ化させないために、AIに「各部の具体的なミッション」を提案してもらうツールです。



【AIへのコピー用プロンプト】

以下の条件に基づき、明日の朝の会で「4つの部活動」が取り組むべき【具体的なミッション】を提案してください。

■ 前提条件

- 学級の4つの部：仲間の部、学習の部、生活の部、健康の部。
- 学級のキーワード（軸）：【ここにキーワードを入力：例「自治」】

■ 提案のルール

- 各部につき1つずつ、子どもがすぐに取り組める「具体的なアクション」を提案すること。
- 精神論ではなく、動作（声をかける、整える等）で表現すること。
- 小学生（または中学生）が理解できる、親しみやすくも引き締まる言葉遣いにする。

4. 活用のアドバイス：先生の役割は「報告を受けるだけ」

スタートしたばかりのころは、先生がどんどん声をかけます。

- こういう視点で話し合って
- こういう姿を1日の中でさがして

などです。話し合いのひな型を印刷して、リーダーの子に配付しておいてもよいです。

子どもたちが慣れてきたら、このミニ会議の最中、先生はできるだけ口を出さないようにします。教室の後ろや机に座って、子どもたちがボソボソとでも自分たちで話している姿を「**見守る**」ことに徹してください。

そして帰りの会で、部長から「今日は～でした!」という報告を受けたら、「**自分の力でクラスを動かしたね**」と、その「**判断**」と「**実行**」を価値付けるだけでOKです。



この積み重ねが、先生が不在でも回る学級を作っていきます。